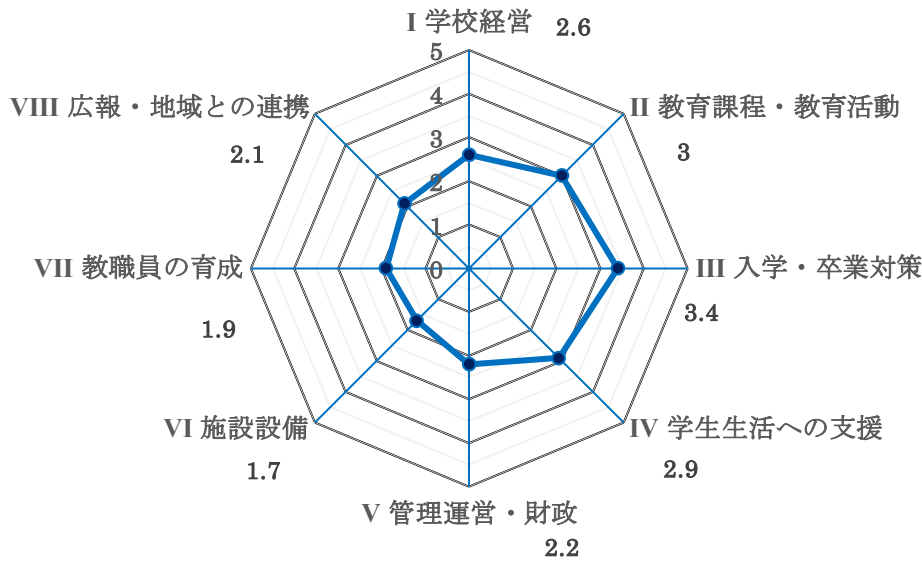


令和4年4月  
看護科

## 学校自己評価・自己点検



令和3年度評価の概要と今後の課題

### I. 学校経営

令和3年4月に目標設定し年間計画策定、それに基づく学校運営を行った。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。その様な状況下でも、看護教育の質の担保についてはオンライン授業や学内実習の継続を行い ICT の活用をできる環境整備に努めた。その結果学生アンケートでは学校生活について、62%の卒業生が充実していたと回答していた。昨年（54%）と比較して若干上昇した。その他の結果からも学生が目指す姿として、教育理念・教育目的を意識して学んでいた。教育理念・目標を点検・見直しを行い、カリキュラム改正に合わせて学校独自のカラーを反映させる教育課程を引き続き検討する。

### II. 教育課程・教育活動

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の対応により、全実習時間数の約60%を臨地実習、残り40%を学内代替実習で行った。学内代替実習では全領域でシミュレーション演習を導入し、思考力、判断力を養うことができた。基礎看護学実習では、ルーブリック評価を取り入れ、自己の行動を省察、課題を見出し、主体的に取り組む姿勢につながった。引き続き、教育内容・教育方法を見直し臨床判断に必要な基礎的能力を育成する。コロナ禍であったが委員会のボランティア活動を通して献血を実施した。しかし教育活動や学内行事などが中止となり学生間や教員との関係性が図れない状況が続き、コミュニケーションツールとしてラインやチャットを活用した。カリキュラム改正に合わせて本校の設立目的を反映し時代の養成に応じたディプロマポリシーの制定とその方針に基づく人材育成を行う。

### III. 入学・卒業対策

入学生の確保は困難な状況であるが、学校訪問4校、オープンキャンパス3回、オンライン学校紹介3校、ホームページの充実、ポスター掲示等、方法や内容については新型コロナウイルス感染防止措置を講じ実施した。また入学試験を推薦及び4回入学試験を実施したが、入学生は73%の充足率であった。今後は前年募集の見直しや准看学生のニーズの把握を行い入学者選抜方法の検討や各准看護師養成所に対する進学ガイダンスなどの計画を実施する。

卒業生は入学時42名（1名休学）から41名が卒業した。卒業生の進路については希望施設へ100%就職ができた。その内県内への就職率は61%で、地元への就職率の高さは本校の特徴である。就職先に関して

は面接時に相談を受けて時期や施設の決定を支援している。卒業生の就職後の評価は就職先との情報交換で把握している。進学に関しては助産学校へ受験を試みたが合格できなかった。進学希望を早期に把握し進学支援が必要である。

IV. 学生生活への支援 年に1度健康診断を実施し健康管理を行っている。学年担当制でクラス運営を行い生活支援やメンタルサポートを行っている。学習支援についてはチューター制をとり、成績のレーダーチャートを基に苦手科目の認識ができ、主体的に取り組む姿勢へとつながっている。

国家試験対策では1年次よりガイダンス、模擬試験やグループ学習等を強化している。3年次の国試対策は市販の模擬試験や教務による模擬試験を実施した。また感染対策を徹底し、オンラインを活用しグループワークや補習講義が実施した。全員がコロナウイルスに感染せず国家試験に臨んだ。 看護師国家試験の合格率

【本校 97.6%】 41名受験 40名合格 不合格者には合格に向けて支援の継続を行っている。

【全国 91.3%】

#### V. 管理運営・財政

今年度は感染防止対策のため運営会議（年4回）、講師会と実習指導者会（年2回）等の開催回数が減少したため、学生の教育で差が生じないようにフォローしている。会議決定事項等で取り組む目的の理解やスケジュール等を文書化した。また、学校評価を組織的に実施し、評価結果をもとに改善計画を策定している。コロナ感染対策に関する学生支援事業により、実習時のPCR検査費用の負担軽減ができた。学生、教員へハラスメント防止に向けて、意見箱の設置や研修の強化を実施する。今後は、人材育成と共に働きやすい環境づくりの促進を図るとともに、受験者数の確保や事業計画に基づいた学校運営に力を入れていきたい。

#### VI. 施設設備

コロナ感染拡大に伴い、全学年オンライン授業を開始した。オンライン授業に対応した環境の整備、ICT教育の機器、図書室も整備しており、学生の学習意欲を喚起している。また、教育用電子カルテの導入により代替実習を充実させることができた。防災に関する組織体制を整備し、防災マニュアルブックを作成し配布している。

#### VII. 教職員の育成

学生授業評価を基にリフレクションを行い、自己の授業課題を考え改善に活かされた。担当2人制をとり教員間で協働し高め合う体制を整えている。Webでの研修が多かったが、計画された研修に参加することができた。カリキュラム改正に向けて行われたWeb研修を全教員が視聴し意識を高めた。引き続き、教員研修を計画し実施する。

#### VIII. 広報・地域との連携

学生と教員は地域社会のニーズを把握する目的と看護教育活動の一貫として、年1回行政の地域健康促進活動や夏祭りの総踊り、防災訓練の参加については実施できなかった。からの看護師留学生を受け入れ、国家試験受験対策の模擬試験やグループ学習を一緒に学んでいる。国際交流の機会を活かし、専門職として職場で協働できる能力を養うことができる。今後も地域の医療・福祉への協力は継続して行う。

#### 令和4年度目標

1. 1年、2年生の国試対策の実施と、3年生が国家試験全員合格できる。
2. 教職員の連携強化し、新カリキュラムの構築ができる。
3. 入学生確保に向けて募集活動方法を教職員全員で取り組み充足率を上げる。

# 令和3年度目標評価

# 看護科 別紙2

令和3年度目標 1. 学生の学力の把握と学習への意義づけに努め、高いレベルでの国家資格取得を目指す。 評価基準 A：計画通り達成できたこと

2. 学生減少に備えた学生確保対策の充実に努める。

B：おおむね計画通り達成できた

3. 学生生活の充実をはかるとともに、健康管理や豊かな心を育む取り組みを実践する。

C：計画通りできなかったところもあり  
十分でない

D：全く達成できなかった

目標	計画	実施状況（評価判断理由）	評価																								
<p>1. 学生の学力の把握と学習への意義づけに努め、高いレベルでの国家資格取得を目指す。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">①全学年模擬試験</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>8回</td> </tr> </table> <p>②業者がイグニス</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>3回</td> </tr> </table> <p>③各学年到達目標 1年：解剖生理、基礎看護学の必修問題獲得 2年：疾患の病態理解、国試問題獲得 3年：領域毎の一般問題獲得・グループワーク学習早期導入</p>	①全学年模擬試験	1年	2年	3年	1回	1回	8回	1年	2年	3年	1回	1回	3回	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">①全学年模擬試験</td> <td>1年</td> <td>全国 375 校中 60 位</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>全国 94 校中 8 位</td> </tr> </table> <p>国家試験結果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td>受験</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>本校</td> <td>41 名</td> <td>40 名</td> </tr> </table> <p>②がイグニス実施直後の意欲は高揚するが継続的な学習行動につながらない。学習方法の獲得や学び合う機会を与える。 ③国試対策委員の国試問題作成・実施後の中間の分析、評価が必要である。3年生のグループワークを12月より早期実施は効果があった。</p>	①全学年模擬試験	1年	全国 375 校中 60 位	2年	全国 94 校中 8 位		受験	合格	本校	41 名	40 名	<p>A</p> <p>国家試験の合格率は 98%であったが、卒業時の国家試験対策の満足度は 64%と高く、肯定的な意見が多かった。</p> <p>引き続き 2022 年度も全員合格を目指し強化していく。</p>
①全学年模擬試験	1年		2年	3年																							
	1回	1回	8回																								
1年	2年	3年																									
1回	1回	3回																									
①全学年模擬試験	1年	全国 375 校中 60 位																									
	2年	全国 94 校中 8 位																									
	受験	合格																									
本校	41 名	40 名																									
<p>2. 学生減少に備えた学生確保対策の充実に努める。</p>	<p>①オープンキャンパス4回計画 ②オンラインでの学校紹介 ③学校訪問</p>	<p>①オープンキャンパス3回、学校見学1回実施 参加9名（内入学生：5名） ②学校紹介（鹿本、菊池、柳川、本校実施） 入学生：本校15名、他校14名 ③学校訪問4校（鹿本、菊池、柳川、小倉）</p>	<p>B</p> <p>しかし結果、入学生 29 名、充足率 73%であった。准看護師養成所が定員割れの状況だが、3校以外にも学校紹介を拡充していく。</p>																								
<p>3. 学生生活の充実をはかるとともに、健康管理や豊かな心を育む取り組みを実践する。</p>	<p>①学生生活を安全に過ごすために環境整備や相談、面接の対応、健康診断 ②学校行事 ドッグセラピー、体育大会、校外研修、夏祭り ③コロナ禍の学習支援 ④キャリア支援 ⑤特別講演</p>	<p>①防災マニュアル配布、防火 AED 設備説明、防犯設備、施錠の徹底等、健康診断実施 ②学校行事は校外研修、ドッグセラピーは実施 ③コロナ禍の学習支援は、オンライン授業や資料配布はメール及び郵送を実施 ④助産学科1名、介護支援専門員1名受験 ⑤ネット犯罪、薬物乱用防止、自殺防止、職能団体活動についての講演実施</p>	<p>B</p> <p>しかし、コロナ禍で学生や教員間の関わりが少なく、勉学意欲の減退や対人関係失調などの理由で休学（4名）や退学（1名）をする学生が増えた。今後も学生個々の状況に合わせ支援を実施する。学校行事は感染に配慮してできる限り実施していきたい。</p>																								